

七つの会議

原作 池井戸潤

正義を、語れ。



監督：福澤克雄 音楽：服部隆之

脚本：渡辺健太郎 季正美
制作プロダクション：マックローケス 制作総局：TBS テレビ
制作：「七つの会議」製作委員会 配給：東宝
©2019 映画「七つの会議」製作委員会 5/11/19

2月1日(金)
ROADSHOW
nanakai-movie.jp

野村萬齋
香川照之
及川光博
片岡愛之助
音尾琢真
藤森慎吾
朝倉あき
岡田浩暉
木下ほうか
吉田羊
土屋太鳳
小泉孝太郎
溝端淳平
春風亭昇太
立川談春
勝村政信
世良公則
鹿賀丈史
橋爪功
北大路欣也

大ヒットメーカー × 豪華出演陣が贈る超王道エンターテインメント

全ての日本人に問う

『働く事』の正義とは？

原作=池井戸潤 × 主演=野村萬斎

『陸王』、『下町ロケット』、『オレたちバブル入行組』などの半沢直樹シリーズほか代表作は数知れず。

企業の矛盾、そして働く人々の葛藤や絆など身近な視点を題材に、痛快でありながら、エンターテインメントとミステリーが絶妙に融合した小説を生み続ける作家・池井戸潤。

その作品群の中でも“傑作”との呼び声が高いクライムノベル『七つの会議』(集英社文庫刊)がついに、スクリーンへ登場する。

「結果がすべて」そんな考え方が今なお続く会社が物語の舞台。

きっかけは社内で起きたパワハラ騒動だったが、そこに隠されたある謎が、会社員たちの人生、

そして会社の存在をも揺るがすことに……。働くことの「正義」とは？そして、守るべき信念とは何か？

現代に生きる全ての日本人に捧ぐ、企業犯罪エンターテインメント——映画『七つの会議』

主演は狂言界の至宝にして、俳優としても唯一無二の存在感を放つ、野村萬斎。捉えどころのない自由奔放な顔と、

信念を貫く強い心を併せ持つ人物像、主人公・八角民夫(やすみたみお 通称「ハッカク」)に挑む。

更には、今までの池井戸作品を支えた重厚かつ、超豪華な俳優陣が勢揃い。

メガホンをとるのは、『私は貝になりたい』(08)、『祈りの幕が下りる時』(18)を手掛け、その確かな演出力とエモーショナルな

映像表現が高く評価された福澤克雄。池井戸作品のドラマ化を数多く成功に導いたその手腕で、

複雑な心情の変化を緻密に、ストーリー展開をダイナミックに描き出す。

2019年、日本映画界の 歴史に新たな“伝説”が刻まれる。



2月1日(金) ROADSHOW

劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です
映画の権利を保護
www.eigakan.org
0120-550098